

平成25年10月開催 第2回 議会報告会の概要

平成25年9月定例会の内容を中心とした議会報告会を、平成25年10月31日(木)19時から20時45分まで、市内3会場に分かれて開催しました。当日は、第1部を9月定例会の報告、第2部を意見交換会として実施しました。第1部では、各常任委員会(総務・文教環境・生活福祉・産業建設・予算決算)の審議内容の報告、第2部では、議会に関する多くの意見をいただきました。

	1班	2班	3班
会場	神戸コミュニティセンター	牧田コミュニティセンター	農村環境改善センター
参加人数	13名	21名	22名
説明議員	大杉吉包・水谷 進・野間芳実 鈴木 純・石田秀三・森田英治 原田勝二・矢野仁志・太田龍三 池上茂樹	後藤光雄・板倉 操・大窪 博 森川ヤスエ・伊藤健司・市川哲夫 森しず子・中村 浩・森 雅之 山口善之	青木啓文・藤浪清司・泊り育美 藪田啓介・宮本正一・中西大輔 大西克美・竹口眞睦・宮木 健 南条雄士

※今井俊郎 議長と森 喜代造 副議長は班には所属せず、各会場を巡回しました。

参加いただいた皆様からの声(抜粋)

☆中学校給食はいつから始まり、全中学校給食は何食なのか。地元の食材を使用するのか。鈴鹿市として地産地消はどれくらい進んでいるのか。

(回答) 平成27年4月からの予定であり、市内全10中学校分1日7,000食の供給能力がある。100%地元材料というわけにもいかないができる限り努めていく。現在の小学校の給食は、約3割が地産であり、米は全て地元のもの、野菜類については比率が低いので、今後はあげていくように進めていく。具体的には、生産者がどの野菜を実際に作っているのか、また、そのルートを含め検討している。

☆議会報告会において、議案の案件だけの報告では、市民には非常に分かりにくいのではないかと。通年で議員が行ってきた活動の得意分野を報告した方が、市民にも分かりやすく興味を引くのではないかと。

(回答) 報告会の内容については他市も参考にしながら、どんな手法がいいのか今後議論していく。

☆スマートインターチェンジについて、どんなメリットがあるのか？議会は賛成の立場なのか。

(回答) 地域の物産販売をして、たくさんの方に鈴鹿に来ていただけると期待している。当初は、インターチェンジを要望したが許可されず、パーキングエリアができることになり、その後スマートインターを要望し許可された。インターチェンジと変わらない機能があり、鈴鹿市の今後の発展にとっては不可欠と考える。議会は賛成の立場である。

【議会報告会に参加いただいた皆様からのご意見】(一部抜粋)

- ・前回の議会報告会よりもポイントを絞って説明していただいで分かり易かったです。
- ・専門用語が難しい、報告に対しての資料が少なく、内容がわかりづらい部分が多かった。
- ・市議会議員の皆さんの声を直接聞けたのでよかった。
- ・せっかくの機会なので、一つくらいテーマを掲げて意見交換をするような方法を採り入れたらどうか。
- ・市民は地元に関することを望んでいると思いますので、その様な内容を入れてほしい。
- ・様子見のところもあり、今後に期待する。



今回も貴重なご意見ありがとうございました。議会報告会のあり方については、よりわかりやすくなるよう見直ししながら取り組んでまいりますので、今後ともよろしくご意見いただきます。